

外国文学B (Foreign Literature B)					担当教員
					准教授 今井 千壽
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
人と文化	1年次 後期	講義	1.5単位	選択	

【概要】

100年以上前のイギリスで誕生したシャーロック・ホームズシリーズは、現在も世界中で読み継がれている。根強い人気の理由は、登場人物の巧みな造形やストーリーの面白さなど多々あるだろうが、舞台となった大英帝国爛熟期から衰退期（19世紀後半～20世紀初頭）という時代の特殊性が、作品に独特の魅力を与えていることも忘れてはならない。本講義では、シャーロック・ホームズの物語をいくつか取り上げながら、作品分析を行うとともに、物語にあらわれた当時の社会や文化の諸相について考察する。“A literary work is not a mere play of the imagination, an isolated caprice of an excited brain, but a transcript of contemporary manners and customs and the sign of a particular state of intellect.”というフランスの批評家・哲学者イポリット・テーヌの指摘にもあるように、文学作品とは、その作品を生み出した時代の生活、習慣、思考、価値観などを知るための格好なテキストであり、一方で、時代背景を把握することは、物語をより深く楽しむための一助ともなるだろう。

この講義は対面です。

【授業の一般目標】

- ・ホームズの物語を読んでその内容や特徴を把握し、自分なりの作品解釈ができる。
- ・物語の背景にあるイギリスの社会・文化について説明できる。
- ・ヴィクトリア朝の特殊性について理解できる。

【準備学習(予習・復習)】

講義で扱う作品について、事前に（翻訳でもよいので）一読の上、指示に従って考察を行っておくこと。また、授業中に参考文献が紹介された場合は、それも読んでおくこと。これらの学修に要する時間は概ね一週当たり150分程度を想定している。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	イントロダクション	今井	シャーロック・ホームズについての基礎的知識を得る。
2	探偵ホームズ誕生の背景	今井	19世紀に顕著であった一般大衆の犯罪（特に殺人事件）に対する嗜好の実態を理解できる。
3	探偵ホームズ誕生の背景	今井	ジャーナリズムや警察組織の発達、推理小説というジャンルの誕生について理解できる。
4	探偵ホームズ誕生の背景	今井	ホームズとワトソンの人物像や関係性について説明できる。
5	『緋色の研究』『ボスコム谷の惨劇』『青いガーネット』他	今井	19世紀の視覚重視文化について理解できる。ホームズの科学的捜査手法の特徴について説明できる。
6	『瀕死の探偵』『悪魔の足』『緋色の研究』『四つの署名』『白面の兵士』他	今井	ホームズ作品に登場する毒や病気について考察し、併せて19世紀の医療について理解できる。
7	『空き家の冒険』『踊る人形』『四つの署名』『ノーウッドの建築業者』他	今井	ホームズ作品に登場する暗号やトリック、奇想天外なアイデア等について説明できる。
8	『まだらの紐』『ボスコム谷の惨劇』『グロリア・スコット号』『緋色の研究』他	今井	作品におけるインド、アメリカ、オーストラリアの描かれ方に注目し、大英帝国の植民地支配の一端について知識を得る。
9	『黄色い顔』『4つの署名』『踊る人形』『まだらの紐』他	今井	作品に読み取れるゼノフォビアについて考察し、海外に対するイギリス人の意識について理解できる。
10	『バスカヴィル家の犬』『三人ガリデブ』『高名な依頼人』他	今井	19世紀社会に広く流行した博物（学）趣味について考察できる。ジャポニズムの影響についても併せて理解できる。

11	『ボスコム谷の惨劇』『花婿失踪事件』『ボール箱』他	今井	作者コナン・ドイルの伝記的側面について学び、それが作品にどのように反映されているか理解する。
12	『緋色の研究』『高名な依頼人』『青いガーネット』他	今井	イギリスの階級制度の特殊性について理解できる。
13	『ライオンの鬚』『覆面の下宿人』『這う男』『最後の挨拶』他	今井	19世紀末～20世紀初頭の社会状況を知り、後期の作品に著しいホームズの変化との関連性がわかる。
14	試験	今井	13回講義までの学修内容について整理・復習し、設問に的確に解答することができる。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 特に指定しない。詳細については第1回授業時に説明する。

参考書 講義中に指示する。

【成績評価方法・基準】

平常点（授業中のグループワーク、課題提出を含む）（30％）、講義中に実施する期末試験（70％）

【評価のフィードバック】

講評は、合格発表以降manabaにて公開する。